

## 5月11 - 15日週の豪ドル円レビュー

May 18, 2009

### 調整売り主導で71円台まで下落

High : 76.18円 Low : 71.06円  
 Close : 71.32円

前週の豪ドルは対ドル・対円ともに軟調な展開に。前週までの大幅な上昇に対する調整売りの影響もあり、週前半から売りが先行。英四半期インフレ報告をきっかけにドル買い・円買いの動きが強まった13日には、豪ドルが対円で71円台まで反落。対ドルも14日には0.75ドル割れを示現する場面も見られた。

5/11 (月) 73.96円

大幅下落。金曜日の上昇を受けた調整売りが入ったほか、軟調な株価動向もリスク回避の動きを誘った。豪ドル円は一時73.78円まで下落。また、銅を中心に商品市場に売りが目立ったことも、資源国通貨である豪ドルの重石となった。

5/12 (火) 73.78円

上下に振れる動き。株高を背景に欧州序盤には75円手前まで買われるものの、株高が落ち着くとこの動きも失速。米国時間にかけては、逆に73円近辺まで売り込まれる場面も見られた。

5/13 (水) 71.78円

大幅下落。予想以上に弱気な見通しが示されたインフレ報告を受けて急落したボンドに連れ安となった。また、米小売が弱い結果となったことで、NY時間も流れは変わらず。引けにかけて71円半ばまで下落した。

5/14 (木) 72.82円

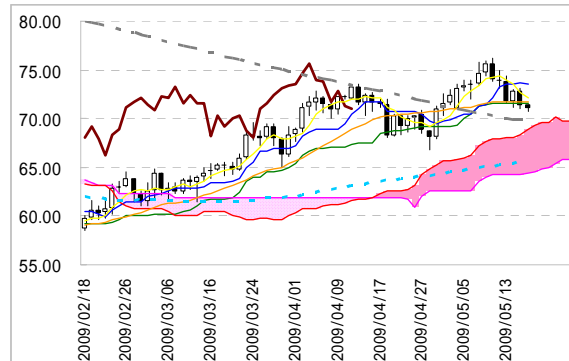
反発。欧州時間まではもみ合い気味の推移となったが、NY時間になると底堅い株価を背景に買い戻し基調へ。リアルマネー系からの買いが入った豪ドル円も73円付近まで反発した。

5/15 (金) 71.32円

大幅反落。欧州各国のGDP統計が予想より弱い結果となったことを背景にリスク回避の動きが強まった。その後は米経済指標の改善を受けて一時的に反発するも、基本的な流れは変わらず。引けにかけて71円割れを窺う場面も見られた。

月日	High	Low
5/11 (月)	76.18円	73.78円
5/12 (火)	74.98円	73.10円
5/13 (水)	74.39円	71.51円
5/14 (木)	73.03円	71.10円
5/15 (金)	73.16円	71.06円

### 豪ドル円の推移



### テクニカル短期・中期ポイント

- 76.18 (5月11日高値 = 年初来高値)
- 73.48 (日足一目均衡表・転換線)
- = 先週末のNYクローズ 71.32円 =
- 69.69 (200日移動平均線)
- 68.92 (日足一目均衡表・雲の上限)

### 豪州の重要指標結果

- 5/11 (月) 【結果】 (前回)
- 4月 NAB 企業信頼感指数 [-14] (-13)
- 4月 NAB 企業景況感指数 [-10] (-17)
- 5/12 (火) 【結果】 (前回)
- 3月住宅ローン貸出 [+4.9%] (+1.2%)
- 豪州政府、09-10年度予算案発表
- GDP見通しは09-10年度が-0.5%に
- 財政見通しは09-10年度が576億豪ドルの赤字に

### アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 68.50 - 76.00円

豪州独自の材料に欠けることから、今週の豪ドル円は概ね世界的なリスク許容度の動きに振られる公算が高い。しかし、米国がAAAの格付けを失うリスクが報道される中で、相対的に健全な同国の財政状況は豪ドルにとって力強いサポート材料。また、中国経済の回復も豪ドルのサポート材料と見られており、ここに至り各金融機関からは豪ドル買い推奨のレポートも増え始めている。こうしたことを鑑みれば、豪ドルは他通貨と比較して総じて優位な状況にいると考えられる。本邦証券筋からも「再び年初来高値を窺う可能性も否定できない」といった声も聞かれており、少なくとも豪ドルの大幅続落は避けられる公算が高いだろう。